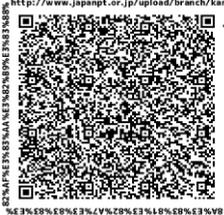


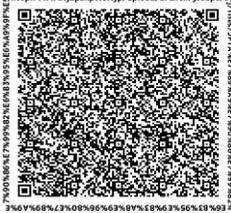
| 公開タグ | その他 | その他 | その他 |
|--------------------------------|--|--|---|
| タイトル | 新型コロナウイルス感染症流行期における嚥下障害診療指針 | 新型コロナウイルスに感染症に関する日本看護協会の取り組み | 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（2020年4月22日） |
| 主に該当する病期 | 病期を問わず | 病期を問わず | 病期を問わず |
| 概要 | <p>・日本嚥下医学会による新型コロナウイルス感染症流行期における嚥下障害の診察・検査、訓練、ケアについての指針がまとめられている</p> | <p>・公益社団法人日本看護協会。2020年4月22日に日本記者クラブで行われて記者会見資料（スライド：42枚）である。主な記載内容は次のとおりである</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全国の院内感染状況 2. 医療現場の現状 3. 日本看護協会の取り組み 4. 国民の皆様へ 看護職の皆様へ | <p>・専門家会議による、最新の情報（2020年4月20日公開）に基づいた状況分析に基づいた提言である。（21ページ）主な記載内容は次のとおりである</p> <p>II. 現状と課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国内の状況等 2. 行動変容等の状況 3. 医療等をめぐる現状と課題 4. 保険所業務、水際対策などの現状と課題 <p>III. 提言</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行動変容の徹底について 2. 医療提供体制の今後の在り方 3. 保健所支援、水際対策等の今後のあり方 |
| 最も注目するポイント ＝理学療法にどのような役割つか？ | <p>・どのような場合に評価・検査・嚥下訓練が推奨されるか具体的に示されている。COVID-19陽性の場合、陰性の場合、さらに未確認の場合における各評価・検査・訓練の推奨度と推奨されるPPEが示されている。現場での対策の指針となる</p> | <p>・感染防止対策：1. 全国の院内感染状況で院内感染発生施設数と院内感染者総数（2020年4月20日現在）が分かりやすく示され、全国19都道府県の54施設で院内感染が疑われる事例は発生していることがわかる</p> | <p>・教育：集中治療を行える人材の養成が重要であり、できるだけ短期間でそのような人材を養成できるようなプログラムを整備すべきと言及されている。集中治療に伴う急性期の理学療法を行える人材の養成も急務であるとする</p> <p>・行動変容：「人との接触を8割減らす、10のポイント」、「新型コロナウイルス感染症の患者数が大幅に増えたときの相談・受診の考え方」分かりやすく表記されている</p> |
| リソースのリンク | http://www.ssdj.med.kyushu-u.ac.jp/new/detail/?masterid=113 | https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/covid_19/press/pdf/press_conference_0422/document.pdf | https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000624048.pdf |
| QRコード |  <p>http://www.ssdj.med.kyushu-u.ac.jp/new/detail/?masterid=113</p> |  <p>https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/covid_19/press/pdf/press_conference_0422/document.pdf</p> |  <p>https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000624048.pdf</p> |
| 公開日 | 2020/4/14 | 2020/4/20 | 2020/4/22 |

| 公開タグ | その他 | その他 | その他 |
|--------------------------------|---|---|--|
| タイトル | 新型コロナウイルス感染症とサイトカインストーム | COVID-19肺炎に対するHFNCの使用について | 感染蔓延期における医療体制の在り方とお願い 新型コロナウイルス感染症患者を診察される先生方へ |
| 主に該当する病期 | 病期を問わず | 急性期 | 病期を問わず |
| 概要 | <p>・AFP通信のニュースにて、新型コロナウイルスの特徴の一つに、免疫系が急速に過剰反応を起こす「サイトカインストーム」が関与している可能性が取り上げられている</p> | <p>・一般社団法人日本呼吸器学会呼吸管理学会。呼吸器内科医が今後COVID-19肺炎の重症呼吸不全を見ていくにあたり2つの考え方が提言されている</p> <p>A. 通常の酸素級（ECMOnet指針：鼻カニューラもしくはフェイスマスク5L/分を上限）で酸素化が維持できなければ挿管人工呼吸器を検討する。挿管できない理由がある時のみHFNCを行う。</p> <p>B. 通常の酸素吸入（上記）で酸素化が維持できなければHFNCを行う。それでも維持できないときに挿管を行う。</p> <p>*AないしBを選ぶかは各施設の状況、考えかたで判断する</p> | <p>・日本感染症学会、日本環境感染学会からの共同声明である。共同声明は、次の4項目から構成されている</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 重症化を抑えるための治療の考え方 2. 病院全体、地域全体での医療体制の維持 3. 遺伝子診断等の検査法 4. 偏見・差別をなくすために |
| 最も注目するポイント ＝理学療法にどのように役立つか？ | <p>・サイトカインストームの可能性を把握することで、重症化予防のための治療や介入に役立つ</p> | <p>・呼吸管理：HFNCの適応指針が示されている</p> | <p>・感染防止対策：リハビリセンターに関して以下の記述で感染対策に対する注意喚起がなされている。2. ・病院、高齢者施設、リハビリセンターは施設内感染の高リスク環境です。面会制限、スタッフの体調管理（体温測定など）などの対策の徹底に注意しなければならない</p> |
| リソースのリンク | https://www.afpbb.com/articles/-/3279953 | https://www.jrs.or.jp/uploads/uploads/files/information/20200424_COVID_HFNC.pdf | http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/covid19_arikata.pdf |
| QRコード |  <p>https://www.afpbb.com/articles/-/3279953</p> |  <p>https://www.jrs.or.jp/uploads/uploads/files/information/20200424_COVID_HFNC.pdf</p> |  <p>http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/covid19_arikata.pdf</p> |
| 公開日 | 2020/4/23 | 2020/4/24 | 2020/4/24 |

| 公開タグ | その他 | その他 | その他 |
|--------------------------------|--|---|---|
| タイトル | 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する注意喚起 | 新型コロナウイルスの感染対策に有用な室内環境に関連する研究事例の紹介（第一版） | 新型コロナウイルス感染予防理学療法チェックリスト 「患者様とスタッフを守るために」 |
| 主に該当する病期 | 病期を問わず | 病期を問わず | 病期を問わず |
| 概要 | <p>・日本摂食嚥下リハビリテーション学会。現時点（2020年4月24日）での、検査・訓練に対する注意喚起である。多くの入院患者、外来患者はCOVID-19の検査を受けていないと思われ、患者と接する際、感染リスクのあることを念頭においた対策が必要になるため、以下を主な項目として挙げられている</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 注意喚起 2. エアロゾル感染について 3. 摂食嚥下リハビリテーションの実施にあたって 4. 透明クリアファイルでつくる応急用フェイスシールドの作製方法 | <p>・室内環境学会により飛沫の大きさと飛散距離、室内換気について詳細にまとめられている</p> | <p>・日本理学療法士協会管理部門。各施設の取り組みやアイデアの共有を通して自部署の取り組みの見直しや気づき等に活用することを目的に行われた、アンケートの集計結果（2020年4月24日）。スライド21枚。主な内容：施設形態、都道府県別新型コロナ陽性患者受け入れ状況、COVID-19患者へのリハ実施状況、リハビリ目的、リハ対応としての取り組み、個人レベルでの対応、組織レベルでの対応、入院（急性期・回復期）での対応、外来やデイでの対応、訪問リハでの対応、臨床実習受け入れについて、実習受け入れに際しての形態、各施設での取り組みについての紹介である</p> |
| 最も注目するポイント ＝理学療法にどのように役立つか？ | <p>・感染防止対策：摂食嚥下リハビリテーション実施に際する注意事項が示されている</p> | <p>・飛散距離として呼吸、話す、咳、くしゃみが分かりやすく示されている。リハビリ室内をはじめとして他職種、患者がイメージしやすい。資料作りの参考になる</p> | <p>・管理運営：理学療法が対象なので実際のCOVID-19に対する各施設の取り組みやアイデアを共有することができる</p> |
| リソースのリンク | https://www.jsdr.or.jp/wp-content/uploads/file/news/news_20200420-2.pdf | http://www.siej.org/sub/sarscov2v1.html | http://www.japanpt.or.jp/upload/branch/kanri/obj/files/%E3%82%B3%E3%83%AD%E3%83%8A%E3%83%81%E3%82%A7%E3%83%83%E3%82%AF%E3%83%AA%E3%82%B9%E3%83%88%E6%83%85%E5%A0%B1%E |
| QRコード |  |  |  |
| 公開日 | 2020/4/24 | 2020/4/25 | 2020/4/27 |

| 公開タグ | その他 | その他 | その他 |
|---------------------------------|---|--|--|
| タイトル | COVID-19重症患者の集中治療の状況 | 新型コロナウイルス SARS-CoV-2のゲノム分子疫学調査 (2020/4/16現在) | 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の治療と予防に関する栄養学的提言 |
| 主に該当する病期 | 急性期 | 病期を問わず* | 病期を問わず* |
| 概要 | <p>・日本集中治療医学会。ECMOnetが国内の各施設から得た情報をもとに作成された。COVID-19重症患者における人工呼吸器装着数の推移(2/14~4/26)、COVID-19重症患者におけるECMO装着数の推移(2/14~4/26)、国内のCOVID-19に対するECMO治療の成績累計(2/12~4/26)がグラフで示されている</p> | <p>・国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター。国立感染症研究所において、国内の新型コロナウイルス SARSCoV-2 (一本鎖プラス鎖 RNA ウィルス、全長 29.9 kb) のゲノム配列を確定し、感染クラスターの遺伝的な特徴を把握することでクラスターの発生原因の推定、迅速な終息のための積極的疫学調査である。2020年3月末から4月中旬における日本の状況は、初期の中国経由(第1波)の封じ込めに成功した一方、欧米経由(第2波)の輸入症例が国内に拡散したものと強く示唆されている</p> | <p>・一般社団法人日本臨床栄養代謝学会COVID-19対策プロジェクトチーム (P009)。世界中から発信されている最新の情報をこれまでに集積してきた代謝栄養学的知見からCOVID-19に対する治療と予防に関する栄養学的アプローチについて12の提言されている。主な記載内容は次のとおりである</p> <p>提言1：栄養評価の実施 提言2：低栄養の栄養状態改善とNST活動の推奨 提言3：エネルギーと蛋白・アミノ酸投与の強化 提言4：微量栄養の適正投与 提言5：隔離・待機状況における継続的な運動と感染対策 提言6：経口的栄養補助の勧め 提言7：経口摂取不十分症例に対する経腸栄養の勧め 提言8：経腸栄養不可症例に対する経静脈栄養の実施 提言9：経腸栄養+静脈栄養の重視 提言10：気管挿管症例に対する適正栄養管理の実施 提言11：感染症例に対するNST活動の注意事項 提言12：社会栄養学の実践-予防が最大の治療</p> |
| 最も注目するポイント = 理学療法にどのように役立つか? | <p>・ECMO：4月27日時点でECMO離脱が46例、死亡が19例、ECMO実習中が44例と報告されている</p> | <p>・感染防止対策：公衆衛生対策を理解し、今後の感染防止対策に活用するための有益な情報である</p> | <p>・予防：提言5で栄養状態の維持・改善とともに適度なエクササイズ(運動)の必要性が示唆されている</p> |
| リソースのリンク | https://covidcmo.txpmedical.com/ | https://www.niid.go.jp/niid/images/research_info/genome-2020_SARS-CoV-MolecularEpidemiology.pdf | https://www.jspen.or.jp/wp-content/uploads/2020/04/61ea499fbc091df8696f6619dc991187.pdf |
| QRコード |  |  |  |
| 公開日 | 2020/4/27 | 2020/4/27 | 2020/4/27 |

| 公開タグ | その他 | その他 | その他 |
|--------------------------------|--|---|---|
| タイトル | 新型コロナウイルス感染症に係る医療機関間での個人情報の共有の個人情報保護法の取り扱いについて | 新型コロナウイルス感染症の軽症者等に係る宿泊療養・自宅療養における健康観察における留意点 | COVID-19感染拡大の中で徒手理学療法を行う際の留意点 |
| 主に該当する病期 | 病期を問わず | 急性期 | 病期を問わず |
| 概要 | <p>・個人情報保護委員会事務局、厚生労働省医政局。「新型コロナウイルスに感染した患者の個人情報について、当該患者への医療の提供のために、当該患者の転院に当たって、転院元の医療機関から転院先の医療機関へ必要な個人情報を提供する場合に、当該患者の同意を得る必要があるか」についての回答が示されている</p> | <p>・厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部。新型コロナウイルス感染症の無症状原体保有者及び軽症者の宿泊療養及び自宅療養において、症者等本人が自らの経過観察（セルフチェック）を行う際に留意すべき「緊急性の高い症状」及び当該項目に該当したときの対応が整理されている。緊急性の高い症状として表情・外見（3項目）、息苦しさ等（7項目）、意識障害等（3項目）が示されている</p> | <p>・（公社）日本理学療法協会徒手理学療法部門。徒手理学療法を行う際の臨床における留意点である。次の項目が記載されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己管理 2. 所属部署での注意点 3. 勉強会、新人教育 4. 院内・施設内で感染者が確認された場合の対応を確認しておくこと 5. 終わりに |
| 最も注目するポイント ＝理学療法にどのような役立つか？ | <p>・感染防止対策：医療機関間における必要な個人情報の円滑な共有のため、患者の転院時における同意取得に係る個人情報保護法の取り扱いについて、具体的な事例が示されている</p> | <p>・リスク管理：様式2は健康観察表になっており、体温と緊急性の高い症状の日々の経過を記録する書式になっている</p> | <p>・管理・運営：2. ①. 1) 理学療法士の配置見直し、2) 担当患者を限定する、3) 患者同士の接触を避ける、4) リハビリ室のレイアウトなど臨床における留意点が示されている</p> |
| リソースのリンク | https://www.ppc.go.jp/files/pdf/iryoukikan.pdf | https://www.mhlw.go.jp/content/000625758.pdf | http://jspt.japanpt.or.jp/jfompt/news/syusai214.html |
| QRコード |  <p>https://www.ppc.go.jp/files/pdf/iryoukikan.pdf</p> |  <p>https://www.mhlw.go.jp/content/000625758.pdf</p> |  <p>http://jspt.japanpt.or.jp/jfompt/news/syusai214.html</p> |
| 公開日 | 2020/4/28 | 2020/4/28 | 2020/4/28 |

| 公開タグ | その他 | その他 | その他 |
|--------------------------------|---|---|---|
| タイトル | 【動画】コロナ禍で見直す、感染予防の理論と実践 ー感染管理と理学療法の両立ー | 新型コロナウイルス感染症外来診療ガイド（第1版）【日本医師会】 | 物理療法機器における感染対策とICU関連筋力低下に対する物理療法について（Ver.1.1） |
| 主に該当する病期 | 病期を問わず | 病期を問わず | 病期を問わず |
| 概要 | <p>・（公社）日本理学療法士協会。国立研究開発法人 国立国際医療研究センターリハビリテーション科医長の藤谷順子先生に、理学療法士を対象とした感染予防対策についての講演動画（41分44秒）。■分割版：1. はじめに（5分12秒）2. 医療人として（6分48秒）3. 標準予防策（10分27秒）4. 感染経路別の予防法（9分56秒）5. 職場として（平時）（5分12秒）6. 職場として（パンデミックの時）&応援メッセージ（6分35秒）→【番外：正しい感染予防策をしよう。ダメダメ動画編】（6分32秒）講師：藤谷 順子（国立研究開発法人 国立国際医療研究センターリハビリテーション科医長） 監修：国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国際感染症センター 協力：谷川 本明、高橋 宏幸、松崎 春希（国立研究開発法人 国立国際医療研究センターリハビリテーション科/理学療法士） ※本会ホームページ「新型コロナウイルス感染症への対応について」</p> | <p>・日本医師会より診療所などの外来医が、迷うことなく一定水準のレベルでCOVID-19に対応できるマニュアルとなっている</p> | <p>・公益社団法人日本理学療法協会日本理学療法協会物理療法部門作成。改訂版。添付資料、物理療法・リハビリ機器の消毒について。掲載メーカー：Ver.1.0のインターハ株式会社、ミナト医科学株式会社、酒井医療株式会社、オージー技研株式会社の4社に、Ver.1.1では株式会社ホーマイオン研究所、株式会社デンケン、日本メディックスの3社が追加されている。また、伊藤超短波株式会社からの補足情報として、物理療法機器の消毒についての補足資料が掲載されている</p> |
| 最も注目するポイント ＝理学療法にどのように役立つか？ | <p>・感染防止対策、管理運営：現在の状況に即した理学療法士の感染予防対策、職場運営管理の指針が分かりやすく解説されている</p> | <p>・COVID-19患者が直接来院したときのトリアージやCOVID-19による肺炎が疑われる患者に対する診察と検査、重症化を疑う指標が理学療法士にとっても有益な情報である</p> | <p>・感染防止対策（物品管理）：物理療法機器の消毒方法が分かりやすく説明されている</p> |
| リソースのリンク | https://www.youtube.com/playlist?list=PLjsjRuiCw8N0HG42YZ4O_4qatAL_q7Y8t | http://dl.med.or.jp/dl-med/kansen/novel_corona/shinryoguide_ver1.pdf | http://www.japanpt.or.jp/upload/branch/jseapt/obj/files/JPTA%E7%89%A9%E7%90%86%E7%99%82%E6%B3%95%E9%83%A8%E9%96%80%E7%89%A9%E7%90%86%E7%99%82%E6%B3%95%E6%A9%9F%E5%99%A8 |
| QRコード |  |  |  |
| 公開日 | 2020/4/30 | 2020/4/30 | 2020/4/30 |

| 公開タグ | その他 | その他 | その他 |
|--------------------------------|---|--|---|
| タイトル | COVID-19に対する薬物治療の考え方 第2版 | 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)に関する日本リハビリテーション医学学会理事長声明 | WHO手指衛生キャンペーン |
| 主に該当する病期 | 病期を問わず | 病期を問わず | 病期を問わず |
| 概要 | <p>・日本感染症学会より、COVID-19に対する薬物治療の考え方として、抗ウイルス薬の対象と開始のタイミング・薬剤の選択について指針が示されている</p> | <p>・公益社団法人日本リハビリテーション医学学会。「日本リハビリテーション医学学会は、リハビリテーション医学・医療に関連する学会、団体、協会などと連携して、リハビリテーション医療・マネジメントに関わる皆さまを支援すること。また、COVID-19に起因するリハビリテーション医療・マネジメントの問題も各学会、団体、協会などと協議して、その対策や要望などを提言したいと考えていることが記載されている</p> | <p>・WHO（世界保健機関）では、毎年5月5日前後に、感染対策の基本である手指衛生に関するグローバルキャンペーンを展開している。2020年は国際看護師・助産師年であり、今年のWHO手指衛生グローバルキャンペーンは看護師・助産師とも協力体制を深めている。2020年のメインメッセージは「清潔なケアはあなたの手から」と啓発されている</p> |
| 最も注目するポイント ＝理学療法にどのように役立つか？ | <p>・COVID-19に対する抗ウイルス薬の現状の指針を知ることで、現場での治療方針の理解に役立つ指針である</p> | <p>・感染防止対策：リハビリテーション医学学会としての感染防止対策への考えが記されている</p> | <p>・感染防止に関するWHOのキャンペーン。理学療法士全般における啓発活動である</p> |
| リソースのリンク | http://www.kansensho.or.jp/uploads/files/topics/2019ncov/covid19_drug_200430.pdf | https://www.jarm.or.jp/wp-content/uploads/2020/05/3f29092c45a52d90ac310151b9088080.pdf | http://www.kansensho.or.jp/modules/news/index.php?content_id=153&fbclid=IwAR3s4-ci-eso04AR3cS4e-tCwwl_QxcZN-0oVFU1SVWS4yNg8pxzPqZy_gA （日本感染症学会より） |
| QRコード |  <p>http://www.kansensho.or.jp/uploads/files/topics/2019ncov/covid19_drug_200430.pdf</p> |  <p>https://www.jarm.or.jp/wp-content/uploads/2020/05/3f29092c45a52d90ac310151b9088080.pdf</p> |  <p>http://www.kansensho.or.jp/modules/news/index.php?content_id=153&fbclid=IwAR3s4-ci-eso04AR3cS4e-tCwwl_QxcZN-0oVFU1SVWS4yNg8pxzPqZy_gA</p> |
| 公開日 | 2020/5/1 | 2020/5/1 | 2020/5/1 |

| | |
|--------------------------------|--|
| 公開タグ | その他 |
| タイトル | 日本緩和医療学会 COVID-19 患者の呼吸困難への対応に関する手引き (病院版) |
| 主に該当する病期 | 病期を問わず |
| 概要 | <p>・日本緩和医療学会によるCOVID-19患者の呼吸困難への対応手引き(フローチャートや観察項目など)が報告されている</p> |
| 最も注目するポイント ＝理学療法にどのように役立つか？ | <p>・呼吸困難は日常的な理学療法臨床の対象者においても対処の判断に迷うことも多いが、COVID-19患者の呼吸困難に対する酸素および推奨される薬物療法や観察項目について明確に示されている</p> |
| リソースのリンク | https://www.jspm-covid19.com/?p=169 |
| QRコード |  <p>https://www.jspm-covid19.com/?p=169</p> |
| 公開日 | 2020/5/1 |